

・杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和6年2月】・

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 唐澤 弘子

・令和6年2月19日学校運営協議会の概要・

1. 第三学期そして年度末を迎えている学校の様子・予定などを伺いました。

コロナ・インフルエンザが一応の落ち着きの中、授業・諸行事が順調に進められています。

- ① 始業式(1/9)・土曜授業[中瀬検定・雪国の生活=2年生良い経験・井草どんと焼き=大盛況]
(1/13)・百人一首大会(1/16)=1年生の今後の成長を期待・小中合同挨拶運動(1/16~18)=生徒会
が活躍・小中学生環境サミット(1/20)では2グループが発表しました
- ② 都立高校推薦入試(1/26/27)→合格発表(2/2)←事前の集団討論・面接訓練も効果あり
- ③ 移動教室(2/7~9)は2日前の大雪がラッキーとなり最高のコンディションに恵まれ、クラスの
和と絆を深める良い機会になったようです
- ④ 新入生保護者説明会(2/15)と標準服採寸(2/18)など、新年度準備も始まりました
新1年生の人数は未確定ですが、129~130名と見込んでいるようです。(4クラス編成)
保護者説明会には113名が出席され、良い雰囲気で活発な質疑が有ったようです
- ⑤ 今後の予定として・学年末考査(2/22~27)・都立高校一般一次入試(2/21)一次発表(3/1)
・餅つき大会(3/5)と続きます。
異学年グループワーク(3/6)は「杉並区子ども権利条例策定」に関わって、区立中学校では唯一生
徒全員の考えを吸い上げる形式で行われます→意見が十分に条例に反映されことを期待します。
- ⑥ 卒業式(3/16)は前回同様都立稲ヶ丘高校体育館を借用して行われます。前回は式典終了後現地解散
で少し素っ気なく終わり、色々な意見が寄せられましたようです。今回は全員バスに分乗し学校に戻る
ことに変更、その後に工夫があり余韻と思い出が残る別れになりそうです。

2. 「学校教育調査」での保護者・生徒の評価結果表及び付随する自由意見資料の説明を頂きました。

従来から運営協議会も自由意見を分析し課題を見つけ、対応策検討のサポートをしてきました。

特に今回の自由意見には、校舎改築で運動場が狭いこと(更に全く使えなくなる期間も有り、影響が
長期にわたる)への問題意識が多く寄せられていました。想定されていたことではありますが、出来
る限りの対応策が必要です。区の施設である「井草の森公園運動場」「妙正寺体育館」「上井草スポー
ツセンター」などの利用を期待する記入もありました。

3. 校舎改築工事は順調ですが、やや想定外の状況に・土壌改良凝固剤粉末が飛んで窓が開けられないこ
と・工事の揺れで「地震では!」の恐怖感・体育館天井結露?による大量の水滴落下などがあります。
若干の設計変更は「多目的室にパーテーション設置(不登校生徒対応スペースも考慮して)」です。
設備や什器備品の選定などで、学校には予想以上の負荷が掛かっているようです。

4. 令和6年度経営方針の策定が進められており、意見を求められました。「目指すべき学校像」の基本に
は従来から明確な項目が示されていますが、「不登校生徒」対応についても考え方を示す段階と思われ
ます。現時点での実態の説明を頂きましたが原因も状況も対処策も様々で、教員の負荷は過大です。
社会問題にもなっている難題、行政との連携を含め実効性ある対応を期待したいと思います。

以上

【運営協議会予定】次回・3月18日(月)・次々回4月22日(月)いずれも 15:00~ (CS広報月刊版)